

I 平成 29 年度 事業報告書

1 事業の概要

概 況

当協会は、水戸市国際交流センターを拠点とし、国際交流の中核組織として他の国際交流団体等と連携を図りながら、地域における国際交流活動を推進することを目的として平成 7 年 3 月に設立され、市民、関係団体、行政などとの連携を図りながら、多様化する国際交流に対応するための様々な事業を展開してまいりました。

具体的には、海外諸都市との国際交流事業のほか、国際交流団体等の活動への支援や外国人市民への支援に重点を置くとともに、地域住民と外国人との交流の場の創出や各国の文化への理解を深めるための国際理解講座等の開催、多文化共生を中心とした事業の展開に努めてまいりました。

また、水戸市から指定管理者の指定を受けている国際交流センターの適切な管理運営と公益法人にふさわしい事業の展開と組織運営に努めました。

(1) 海外諸都市との国際交流事業

市民間の交流、相互理解、友好親善を目的に、国際親善姉妹都市アナハイム市及び友好交流都市重慶市との交流をさらに深めました。

ア 国際親善姉妹都市アナハイム市との交流

(ア) アナハイム市からの親善訪問団受入 (中止)

アナハイム市側の申し出により、訪問団の受入れは中止となった。

(イ) 水戸市学生親善大使の派遣

応募者：20 人(中学生 8 人，高校生 12 人)

選考試験：平成 29 年 6 月 6 日(火)書類選考，6 月 11 日(日)面接・集団討論

派遣期間：平成 29 年 7 月 28 日(金)～8 月 7 日(月) 11 日間

内 容：アナハイム市でのホームステイ等を通じて、市民との友好交流，
アメリカ合衆国の文化等の学習と体験，報告書発行

派遣人数：10 人(中学生 3 人，高校生 5 人，団長 1 人，協会職員 1 人)

団 長：大口 由美子 (水戸市立赤塚中学校教諭)

結 団 式：平成 29 年 7 月 9 日(日)

研 修：事前研修 平成 29 年 7 月 9 日(日)，16 日(日)，23 日(日)

事後研修 平成 29 年 8 月 20 日(日)

(ウ) アナハイム市学生親善大使の受入

期 間：平成 29 年 6 月 24 日(土)～7 月 4 日(火) 11 日間

内 容：市役所表敬訪問，稲荷第一小学校・水戸第二中学校・智学館中等教育学校・水戸桜ノ牧高校への授業参加，東京見学，水戸市内施設見学(水戸芸術館，茨城大学)，着付け体験，サヨナラパーティーなど
受入人数：8 人(男子学生 1 人，女子学生 5 人，引率者：アナハイム市姉妹都市委員会委員 2 人)

滞 在 先：〈学 生〉 市内に住む市民宅(6 家族)にてホームステイ
〈引率者〉 市内ホテル

(エ) アナハイム市との教育交流事業

アナハイム市から英語指導助手の受入(採用)に向けて，水戸市教育委員会と連携しながら，アナハイム市関係機関と各種調整を行った。

採用者数：17 人(更新を含む)

採用時期：平成 29 年 4 月 1 日

イ 友好交流都市重慶市との交流

(ア) 重慶市親善訪問団の派遣

期 間：平成 29 年 11 月 14 日(火)～11 月 19 日(日) 6 日間

派 遣 先：重慶市，西安市

内 容：歓迎会，市内視察(重慶市企画展覧館，重慶市貿易開発区，四川外国語大学，三峡博物館ほか)，西安市内視察(兵馬俑坑，青龍寺，西安城壁ほか)，報告書作成

団 員：団 長 高橋 靖(水戸市長)

副団長 木本 信太郎(市議会副議長)

団 員 市民 8 人(男性 5 人，女性 3 人)

市議会議員 3 人(男性 2 人，女性 1 人)

市職員 1 人(男性 1 人)

協会職員 2 人(男性 2 人)

計 16 人(男性 12 人，女性 4 人)

(イ) 重慶市親善訪問の受入(中止)

中国国内及び重慶市の諸事情により，重慶市親善訪問団の受入は実施に至らなかった。

(ウ) 重慶市青少年交流事業

日中国交正常化 45 周年を記念し，日中両国の中学生による卓球交歓大会を通じて，両国の友好都市，友好交流都市の地域間の友好関係とスポーツ界の相互交流の

発展を促進し、21世紀を担う青少年の友好交流の輪を広げることを目的として、「日中友好交流都市中学生卓球交歓大会」が開催され、選手団を派遣した。

派遣期間：平成29年8月3日(木)～8月8日(火) 6日間

派遣先：北京市

内容：卓球競技(水戸市・重慶市合同チーム)、表彰式及びレセプション、市内見学(万里の長城、雁栖湖)

団員：5人(選手2人、監督2人、協会職員1人)

団長：王偉珏(水戸市国際交流協会事務局長)

監督：蓮見宏明(水戸第一中学校教諭)

廣澤龍(水戸赤塚中学校教諭)

(2) 市民の国際交流活動に対する支援

国際交流ボランティア団体等の活動が円滑に行えるように支援するとともに、市民に対し、団体等の交流活動の紹介や講演会などを通して、国際理解を深める啓発事業を行いました。

ア 国際交流のつどいの開催

市民の国際理解の推進を図るため、日本との外交関係樹立150周年を迎えたスペインに焦点をあて、関係団体等と連携を取りながら、スペインの文化等を紹介する事業を開催した。

(ア) 講演会「スペインの魅力」の開催

期日：平成30年3月3日(土)

講師：洞澤徹(スペイン政府観光局マーケティング・マネージャー)

内容：歴史・地理・食・観光の際の見どころなど、スペインという国の魅力を、写真や映像を交えて紹介。

受講者数：57人

(イ) 国際交流団体活動紹介展示

水戸市国際交流センターを拠点として活動する国際交流団体等の日頃の活動状況を紹介するパネル展を開催した。展示期間中には、「イベントデー」と称し、国際協力のためのグッズ紹介や、各団体のスタッフによる活動説明コーナーを開催した。

期間：[第1期]平成30年2月24日(土)～3月25日(日)

[イベントデー]平成30年3月3日(土)

参加団体：2団体

イ 国際交流団体連絡会議

ボランティア団体間の情報交換やセンター利用などをテーマとして、水戸市国際交流センターを拠点として国際交流活動をしているボランティア団体の連絡会議を開催した。

期 日：平成 29 年 12 月 19 日(火)

参加者数：9 人（8 団体）

ウ 外国人に日本語指導をしているボランティア団体への支援：MIJ ネットワーク支援

水戸市国際交流センターを拠点として外国人に日本語を指導しているボランティア団体のネットワーク組織である「水戸市国際交流センターボランティア日本語教室ネットワーク（通称：MIJ ネットワーク）」の活動を支援した。

内 容：日本語ボランティア団体が、毎月第 2 木曜日に行う会議等の活動を支援した。

(3) 国際交流に関する講演・講座・研修等の実施

市民に国際交流及び世界の文化などについて理解を深めてもらうため、各種講座を実施するとともに、国際交流パーティーを開催し、市民と外国人との交流の場の創出に努めました。また、市内小学校や地域団体に国際理解を促すため、外国人を講師として派遣しました。

ア 国際理解講座の開催

世界各国の生活・文化・歴史等の理解を深めるため、関係団体の協力を得て国際理解講座を開催した。

(ア) 世界の料理講座～つくってみよう世界の料理～

外国人市民を講師として招き、世界の様々な国や地域の料理を通して、それぞれの国の文化や習慣を学ぶ料理講座を開催した。

① キルギス編

期 日：平成 29 年 8 月 19 日(土)

対 象：一般

内 容：キルギス出身の方を講師に招き、日本の家庭でも作ることができるキルギス料理の調理方法を中心に、文化や習慣を学び、相互理解を深めた。（プロフ～キルギス風ピラフ～/シャカラップ～トマトとタマネギのサラダ～/チャクチャク～揚げ菓子の蜂蜜和え～）

講 師：ヤナ・ワリブルス（キルギス共和国，ビシュケク出身）

受講者数：14 人

② 台湾編

期 日：平成 29 年 11 月 4 日(土)

対 象：一般

内 容：台湾出身の方を講師に招き、日本の家庭でも作ることができる台湾料理の調理方法を中心に、文化や習慣を学び、相互理解を深めた。(滷肉飯～肉そぼろかけご飯～/蕃茄炒蛋～トマトと卵の炒め物～/蓮藕排骨湯～レンコンとスペアリブのスープ～/愛玉子～愛玉ゼリー～)

講 師：郭文曲（台湾、台中市出身）ほか

受講者数：15 人

③ 特別編 ー台湾のお茶ー

期 日：平成 30 年 3 月 17 日(土)

対 象：一般

内 容：特別編として、台湾出身の方を講師に招き、台湾のお茶文化について学び、相互理解を深めた。

講 師：田川莉紗（台湾、台北市出身）ほか

受講者数：22 人

(イ) 親と子の国際講座（水戸ユネスコ協会青年部と共催）

小学生とその保護者を対象に、外国や日本の文化に触れることを通して、相互理解の精神を身につけ、多様な社会や文化の中で共に生きていく力を楽しみながら育むことを目的に実施した。

①世界の衣・食・住を見てみよう！目指せ！ユネスコ大使！

期 日：平成 29 年 6 月 25 日(日)

対 象：小学生とその保護者

内 容：4 か国(イギリス・ポーランド・マレーシア・スウェーデン)に焦点を当て、茨城大学の学生や留学生が、クイズ形式で各国文化や言語を紹介した。また、ポーランド料理の「ピエロギ」を作り、試食した。

受講者数：31 人（子ども 17 人，保護者 14 人）

② ようこそユネスコパーク！世界の遊びを楽しもう！

期 日：平成 30 年 1 月 21 日(土)

対 象：小学生とその保護者

内 容：4 か国(フランス・ミャンマー・ブラジル・韓国)に焦点を当て、茨城大学の学生や留学生が各国の文化を紹介するとともに、世界

の遊びを楽しみながら、交流を行った。また、スイス料理「レシュティ」を作り、試食した。

受講者数：28人（子ども15人、保護者13人）

(ウ) 世界とつながる子ども教室

多くの子どもたちに早期英語学習の機会を提供するとともに、語学学習だけではなく、コミュニケーションツールとしての英語に親しんでもらうことを目的として、世界のあらゆる人々との交流が可能となることを知ってもらう講座を開催した。

① プチ体験！英語で授業（夏季）

期 日：平成29年8月15日(火)、16日(水)

対 象：小学生(低学年、中学年)

内 容：歌やゲームなどの活動を通して、英語に慣れ親しんだ。

講 師：ジェイコブ・シュアート（アメリカ出身・水戸市英語指導助手）
ヒュー・ニューウィン（アメリカ出身・水戸市英語指導助手）

受講者数：31人

② プチ体験！英語で授業（冬季）

期 日：平成29年12月9日(土)

対 象：小学生(低学年、中高学年)

内 容：歌やゲームなどの活動を通して、英語に慣れ親しんだ。

講 師：ジェイコブ・シュアート（アメリカ出身・水戸市英語指導助手）
ヒュー・ニューウィン（アメリカ出身・水戸市英語指導助手）

受講者数：44人

(エ) なるほど！世界セミナー

各分野の専門家を講師として招き、世界の文化、歴史、社会、そして現地の見どころなどを通じて、国際理解を深めることを目的とした講座を開催した。

① 『ルネサンス』以前のイタリア絵画における3つの『再生』

期 日：平成29年8月30日(水)、9月6日(水)

対 象：一般

内 容：ジョットを始め、数多くの巨匠を輩出した14世紀前半のイタリア絵画に焦点を当て、彼らが「ルネサンス」に先駆けて達成した一大革新を、「空間の再生」・「人間の再生」・「自然の再生」の3つのテーマに分けて解説した。

第1部(8/30)：空間の「再生」

第2部(9/6)：人間と自然の「再生」

講 師：松原 哲哉（常磐大学人間科学部准教授）

受講者数：36人

② イタリア絵画編（補講）

期 日：平成 29 年 11 月 22 日(水), 30 日(木)
対 象：一般（イタリア絵画編受講者）
内 容：本講座の内容に関し，講師が補足説明を行った。
講 師：松原 哲哉（常磐大学人間科学部准教授）
受講者数：17 人

③ なぜ国家は対立するのか— 平和学で見る現在の国際関係

期 日：平成 29 年 12 月 16 日(土)
対 象：一般
内 容：「平和学」の視点から，現在の国際関係を読み解いた。
講 師：蓮井 誠一郎（茨城大学人文社会科学部教授）
受講者数：47 人

（オ）ホビングリッシュ講座

「ホビー(趣味)」と「イングリッシュ(英語)」を合わせた造語「ホビングリッシュ」。毎回異なったテーマを取り上げ，外国人講師とともに英語で取り組むことにより，参加者が自然な英会話を楽しみ，講師との交流から外国文化への理解を深めることを目的として実施した。

① 紙で作ろう！クリスマス飾り

期 日；平成 29 年 12 月 2 日(土)
対 象：5 歳以上から大人まで
内 容：アメリカのクリスマスをテーマに，紙で作るクリスマスの飾り(雪の結晶・ツリー)や，アメリカでのクリスマスの過ごし方について学んだ。
講 師：デリック・シスラー（アメリカ出身・水戸市英語指導助手）
受講者数：34 人（大人 16 人，子ども 18 人）

② アメリカ音楽のルーツを探る

期 日；平成 30 年 2 月 10 日(土)
対 象：一般（英語中上級者向け）
内 容：アメリカ音楽をテーマに，アメリカ音楽形成に至るまでの経緯などについて，楽曲紹介や演奏を交えて学んだ。
講 師：クレイ・バッセンジャー（茨城大学非常勤講師）
受講者数：16 人

（カ）ことばのひびきを楽しもう！

本を通じて，年齢や言語にこだわることなく本の持つ世界観を一緒に共有することで，異文化理解・国際交流に親しむ機会を提供することを目的として実施した。

① せかいのことばでよみきかせ ～英語×日本語の巻～

期 日：平成30年3月10日(土)

対 象：4歳以上から小学生までとその保護者

内 容：英語と日本語による絵本の読み聞かせでは、外国語の音の響きを楽しむとともに、手遊びうた通じて、異文化に親しんだ。

[絵本] くまさん くまさん なにみてるの? / かいじゅうたちのいるところ / 三びきのやぎのがらがらどん / ぼくを探しに

読 み 手:[英語] デリック・シスラー (アメリカ出身・水戸市英語指導助手)

[日本語] 当協会職員

受講者数：69人(子ども36人, 保護者33人)

(キ) 国際理解のつどい (メサフレンドシップと共催)

期 日：平成29年10月29日(日)

対 象：一般

内 容：シリア人女性ナーヘド・アルメリ氏 (筑波大学大学院博士課程) を講師に迎え、シリアの文化や日常生活について学んだ。

参加者数：53人(うち外国人5人)

イ 国際交流パーティーの開催

市内及び水戸市近郊に在住する外国人市民と地元市民がお互いの文化を紹介し体験するとともに、交流パーティーを通して相互理解を深めることを目的として開催した。

(ア) お月見パーティー (ラブニールと共催)

期 日：平成29年9月30日(土)

内 容：お月見をテーマに日本文化(着付け, けん玉, 書道, 折り紙, 茶道)を紹介したほか、地域住民と外国人市民との交流を図った。

参加者数：136人(うち外国人61人)

(イ) 新春パーティー (ラブニールと共催)

期 日：平成30年1月27日(土)

内 容：参加外国人による各国紹介を行ったほか、地域住民と外国人市民との交流を図った。

参加者数：117人(うち外国人67人)

ウ 国際理解のための外国人紹介

国際理解推進のため、市内の学校や公的機関等が、国際交流に関する講座等を開催する際に外国人市民を紹介した。

紹介数：5件（小学校2件，高校2件，その他の公的機関等1件）

紹介者数：11人

エ 地域との連携事業の実施

中心市街地の活気と賑わいの創出を図りながら，市民に世界の文化などに理解を深めてもらうため，地域団体等と連携・協力し，事業を行った。

（ア）グローバルフェスタ茨城 2017（出展）

期 日：平成29年5月14日（日）

会 場：茨城県三の丸庁舎 広場

主 催：グローバルフェスタいばらき実行委員会

内 容：国境を越えた地球規模（グローバル）と地域（ローカル）の両方の視点から，世界の様々な課題を理解し，体験する場を設け，茨城と世界をつないだ地域の活性化に寄与することを目的として開催された同事業は，「世界フェアトレード・デー」にちなみ，国際交流団体等のパネル展示，フェアトレード商品の販売を行うほか，民族楽器の演奏や武術太極拳が披露された。当協会は，協会事業を紹介する展示を行った。

（4）外国人市民に対する支援

外国人市民や留学生に対し，水戸市や日本の文化の良さを理解してもらうため，各種事業を行い，相互理解を深めました。

ア 子どものための日本語ボランティア

日本語指導を要する在住外国人の子どもを対象に，水戸市国際交流センターにおいて毎週日曜日に日本語を指導した。また，団体が行う定例会や定期的実施する研修会等の活動を支援した。

（ア）子どものための日本語教室

対象児童・生徒数：11人

ボランティア数：10人

期 間：平成29年5月14日～平成30年3月11日（毎週日曜日及び補習日）

（イ）日本語ボランティア学校派遣

水戸市教育委員会と連携しながら，日本語指導を必要とする子どもを対象に，ボランティア指導者が学校へ赴き，教育課程外の時間（放課後）に日本語を指導した。

対象児童・生徒数：3人

ボランティア数：5人

派遣学校：浜田小学校，見川中学校，緑岡中学校

期 間：平成 29 年 4 月 4 日(火)～平成 30 年 2 月 14 日(水)

(ウ) 定例会

毎月第 2 木曜日に定例会を開催した。(場所：水戸市国際交流センター)

(エ) 外国籍児童・生徒のための「進路ガイダンス・交流会」

日本語ボランティア団体「せきれいの会」が、「青少年健全育成=高濱正明記念基金」の助成金を受けて、外国籍児童・生徒のための進路ガイダンス・交流会を行い、それを共催した。

期 日：平成 29 年 11 月 12 日(日)

主 催：子ども向け日本語ボランティア「せきれいの会」

参加者数：32 人（生徒・保護者：19 人，講師等：4 人，ボランティア：9 人）

イ 外国人のための生活情報紙(Culture Pot MITO)の発行

水戸市に住む外国人に対して、生活に役立つ情報をわかりやすく届けるとともに、水戸市への理解を深めてもらうことを目的として、隔月の生活情報紙を発行した。

発行言語：ルビ付日本語版・英語版

| 号 | 内 容 |
|-----------------------|--|
| 2017 年 4・5 月号 | 日本語表現(自己紹介)，イベント情報，自動車税，在留手続，ゴールデンウィーク，日本語教室情報，いろいろニッポン(お花見) 等 |
| 2017 年 夏号 (6 月発行) | 日本語表現(夏の暑さの表現)，イベント情報，水の事故，花火大会，児童手当・健康保険などの生活情報，いろいろニッポン(蚊よけ) 等 |
| 2017 年 秋号 (10 月発行) | 日本語表現(写真を撮ってもらう)，イベント情報，道路標識，読書の秋，MITO インターナショナルライブラリー，保育園・幼稚園，いろいろニッポン(虫の声) 等 |
| 2017 年 冬号 (12 月発行) | 日本語表現(年末年始に聞く言葉)，イベント情報，道路標識，所得税，年末年始のゴミ収集，寒い冬を乗り切ろう，いろいろニッポン(お年玉とポチ袋) 等 |
| 2018 年 春号 (2 月発行) | 日本語表現(年末年始の挨拶)，イベント情報，道路標識，花粉症，自動車税，在留手続，日本語教室情報，いろいろニッポン(のし袋) 等 |

ウ どうようサロンの開催

(ア) どうようサロンーマルチリンガル

国籍や言語に捉われない交流の機会を提供し、市民の国際感覚の醸成や国際理解の増進を図ることを目的に、毎月第 2・4 土曜日などに開催した。

| | 期 日 | 参加人数 |
|---|--------------------|-----------------|
| 1 | 平成 29 年 4 月 8 日(土) | 7 人 (うち外国人 2 人) |

| | | |
|----|---------------|----------------|
| 2 | 4月22日(土) | 17人(うち外国人5人) |
| 3 | 5月13日(土) | 13人(うち外国人4人) |
| 4 | 6月3日(土) | 20人(うち外国人6人) |
| 5 | 6月17日(土) | 20人(うち外国人5人) |
| 6 | 7月8日(土) | 12人(うち外国人2人) |
| 7 | 7月22日(土) | 19人(うち外国人8人) |
| 8 | 8月12日(土) | 9人(うち外国人2人) |
| 9 | 8月26日(土) | 18人(うち外国人3人) |
| 10 | 9月23日(土) | 7人(うち外国人1人) |
| 11 | 10月14日(土) | 6人(うち外国人1人) |
| 12 | 10月28日(土) | 15人(うち外国人5人) |
| 13 | 11月25日(土) | 12人(うち外国人4人) |
| 14 | 12月9日(土) | 16人(うち外国人3人) |
| 15 | 12月23日(土) | 7人(うち外国人2人) |
| 16 | 平成30年1月13日(土) | 18人(うち外国人3人) |
| 17 | 2月10日(土) | 13人(うち外国人3人) |
| 18 | 2月17日(土) | 9人(うち外国人4人) |
| 19 | 3月3日(土) | 6人(うち外国人1人) |
| 20 | 3月24日(土) | 25人(うち外国人4人) |
| | 合 計 | 269人(うち外国人68人) |

(イ) ティーパーティー

ゲストスピーカーを招いて、自国の文化等についての紹介を通して異文化理解を深めてもらうとともに、外国人市民と地域住民との交流や市民同士が情報交換することで相互理解を深める場を設けた。

| | 期 日 | 参加人数 | ゲストスピーカー |
|---|---------------|---------------|----------------------|
| 1 | 平成29年5月27日(土) | 23人(うち外国人6人) | パーコフィ・エイキンス (ガーナ) |
| 2 | 9月9日(土) | 31人(うち外国人8人) | シカンドリエタ・オリガ (ロシア) |
| 3 | 11月11日(土) | 17人(うち外国人4人) | 渡引 和美(ブラジル) |
| | 合 計 | 71人(うち外国人18人) | |

エ 外国人のための日本文化体験事業の実施

(ア) 外国人のための日本料理教室（水戸ユネスコ協会協力）

期 日：平成30年2月3日(土)

対 象：外国人市民

内 容：寒い冬に相応しい鍋料理の実習を通して、日本の伝統料理に親しむとともに、日本文化への理解を深め、日本で生活を豊かにすることを目的として実施した。

講 師：岡田 さかゑ(元中川学園調理技術専門学校講師)

参加者数：8人

(イ) 外国人のためのスキー体験教室（水戸市役所スキー部協力）

期 日：平成30年2月24日(土)

対 象：外国人市民

会 場：猪苗代スキー場(福島県耶麻郡猪苗代町)

内 容：雪に触れる機会の少ない外国人にスキー体験教室を通して、日本の自然の良さを知ってもらうとともに、外国人同士の親睦・交流を図ることを目的として実施した。

講 師：水戸市役所スキー部員3人

参加者数：30人

オ 外国人のための防災対策事業

地震などの災害が発生した際、外国人が文化や習慣、言葉の違いから大きな被害を受けてしまうことを防ぐため、防災意識の啓発や防災対策事業を行った。

(ア) 防災訓練

火災、地震発生時に適切で迅速な対応ができるよう大地震を想定し、地震及び火災の避難訓練や初期消火の訓練を行った。

① 6月期

期 日：平成29年6月16日(木)

参加者数：12人(外国人4人，協会役職員8人)

② 12月期

期 日：平成29年12月1日(金)

参加者数：8人(外国人2人，協会役職員6人)

(イ) 防災講座（みと男女平等参画を考える会，水戸市防災・危機管理課と共催）

東日本大震災の教訓を生かし、市民団体や水戸市と協力し、外国人市民に様々な防災対策事業を行った。

内 容：災害時などにビニール袋を使って手軽に調理することができる「パ
ッククッキング」を学んだ。

期 日：平成 29 年 6 月 10 日(土)

共 催：みと男女平等参画を考える会，水戸市防災・危機管理課

参加者数：38 人(外国人 14 人，日本人 5 人，ボランティア・市職員等 14 人，
協会職員 5 人)

(ウ) 五軒サマーナイトコンサート&ふれあいまつり(出展)

五軒地区のイベントに合わせ，外国人市民の防災啓発に関する展示を行った。

内 容：五軒サマーナイトコンサート&ふれあいまつりに，防災に関するパ
ネル展示を出展した。

期 日：平成 29 年 7 月 15 日(土)

会 場：水戸芸術館広場

主 催：ふあいぶたうんコミュニティ

共同出展：みと男女平等参画を考える会，水戸市防災・危機管理課

(エ) 防災ツアー（みと男女平等参画を考える会，水戸市防災・危機管理課と共催）

防災についてより深く学ぶため，地域における防災拠点等の見学を行った。

内 容：常磐市民センター及び水戸北消防署を見学し，防災設備等について
の説明を受けた。

期 日：平成 29 年 11 月 26 日(日)

共 催：みと男女平等参画を考える会，水戸市防災・危機管理課

参加者数：26 人(外国人 9 人，ボランティア・市職員等 14 人，協会職員 3 人)

(オ) 英語版避難場所地図／防災マニュアルの提供

英語で表記された水戸市内の避難場所地図及び地震などに対する防災マニュアル
の頒布を行った。(水戸市英文地図に掲載)

カ 多言語生活ガイド(リビング・インフォメーション)の提供

外国人市民の日常生活の利便性をより高め，快適で安全な生活を送ってもらうこと
を目的として，水戸市で生活する上で必要な情報を集約し，作成した多言語の生活ガ
イドを，当協会ホームページ上で公開した。

形 式：電子書籍(E-ブック)

言 語：やさしい日本語(ルビ付き)，英語，中国語，韓国語

キ 英文地図の提供

英語で表記された水戸市の地図 (MITO CITY GUIDE MAP) を頒布した。

ク メール配信による情報の提供

メール配信を希望する外国人市民に対して、市内及び近隣市町村で行われるイベントや生活情報など、役に立つ最新情報を提供した。

配信言語：やさしい日本語(ルビ付き)、英語

対象：外国人市民(配信希望者)

内容：当協会実施の国際交流イベント情報(国際交流パーティー、日本文化体験教室、防災講座 ほか)、一般イベント情報(八重桜まつり、五軒サマーナイトフェスティバル、土浦花火大会、水戸市植物公園正月飾り教室、出初式、桜まつり ほか)

配信回数：13回

ケ 相談窓口の常設

国籍等を問わず、生活様式や習慣などの違いから生じる悩みなどの相談に対し、アドバイスや情報を提供した。

内容：運転免許証の取得・書き換えに関すること、行政手続きに関すること、住宅に関すること、在留資格に関すること、国内外における投資・会社経営に関すること、労使間のトラブルに関すること、医療・社会保障制度に関すること、就職・アルバイト、日本語学習、ボランティア活動、翻訳に関すること など

相談者数：344人(うち外国人239人)

相談件数：344件(電話・電子メール相談119件、来館相談225件)

(5) 国際交流に関する情報・資料の収集及び提供

外国や日本の文化、国際交流等に関する図書、資料等を広く集め、市民や外国人に提供し、また機関紙及びホームページなどにより、情報の発信に努めました。

ア 協会機関紙等による情報発信

(ア) 協会機関紙の発行

① 日本語版：3回発行(5月、12月、3月：各1,500部作成)

市内公共施設、姉妹都市関係者及び寄付者などを中心に送付

| | |
|----------|---|
| 5月(58号) | 平成29年度の事業計画 |
| 12月(59号) | アナハイム市学生親善大使受入、水戸市学生親善大使派遣、MITO国際ライブラリー、事業報告、行事予定 等 |
| 3月(60号) | 重慶市親善訪問団派遣、外国籍児童・生徒のための進路ガイダンス/交流会、防災ツアー、事業報告 等 |

② 3か国語版(英語・中国語・ハンゲル)：年1回発行(5月：1,000部作成)

外国人市民等に配布

| | |
|---------|-------------|
| 5月(15号) | 平成29年度の事業計画 |
|---------|-------------|

(イ) 広報資料の頒布

情報発信の一環として、協会作成のクリアファイル、エコバッグ、英文地図といった広報用資料を頒布した。

イ 図書・資料等の収集及び提供

日本語教室用の教科書や国内外の図書及び資料等を収集し、提供した。

ウ パソコン等の利用・提供

情報コーナーにパソコンを設置し貸出したほか、公衆無線 LAN (Wi-Fi) を来館者に提供した。

パソコン利用：275件（うち外国人174件）

エ ホームページ等による情報提供

当協会ホームページにおいて最新情報、事業内容、運営情報等を提供した。また、ソーシャルネットワーク(Facebook)において、当協会主催のイベント情報や国際交流を問わない一般のイベント情報のほか、生活情報などを随時掲載した。

ホームページ訪問数：27,452件

オ スマートメディアのための情報提供促進事業

スマートフォンやタブレット等のスマートデバイスの普及に伴い、協会ホームページをスマートメディアでの閲覧に適合するよう再構築するとともに、英語・中国語・韓国語版ホームページの利便性を向上させ、多言語対応を促進するための改修を行った。

(6) 国際交流基金等の造成

市民からメモリアルプレート設置に協賛をいただき、基金の造成に努めました。

ア 一般寄付

1件50,000円

(7) 水戸市国際交流センターの管理及び運営の受託

水戸市から国際交流センターの管理及び運営を委託され、市民から親しまれる施設として管理運営に努めました。

ア センターの管理及び運営

(ア) センターの利用状況

| 区 分 | 件 数 | 人 数 |
|--------|---------|-----------------------------|
| 国際交流関係 | 1,735 件 | 28,261 人 |
| 一 般 | 332 件 | 5,867 人 |
| そ の 他 | 24 件 | 668 人 |
| 合 計 | 2,091 件 | 34,796 人 (うち外国人数9,882 人) |

開館日数：296 日

(イ) センターの管理運営

① 施設利用受付及び貸出し業務

研修室等の貸出し、使用料の徴収、貸出し備品の管理などの業務を行い、利用者に快適なサービスを提供した。

② 施設利用促進業務

ホームページによる情報提供を行い、効率的・効果的な利用促進を図った。また、来館する外国人に対応するため、語学に堪能な職員を配置し、それぞれのニーズに応えられるよう努めた。

③ 図書コーナーの管理業務

外国に関する情報、外国語の図書、日本語教育に関する教材、外国語新聞、ビデオなど国際交流に関するさまざまな情報の収集及び適切な管理を行うとともに、来館者への閲覧及び貸出し業務を行った。

④ MITO インターナショナルライブラリーの管理業務

MITO インターナショナルライブラリーの蔵書登録及び貸出の業務を行ったほか、施設の周知を図るとともに、必要に応じて来館者への案内業務を行うなど、同施設の利用促進に努めた。

⑤ 施設・設備の維持管理及び補修業務

国際交流センターの施設及び設備を総合的に管理し、効果的な管理運営を図るとともに、利用者に対し安全で快適な環境を提供するため、施設の維持管理及び修繕を行った。

◇ 施設環境衛生管理業務

施設的美観を維持し、センターの利用者に対し快適な空間を提供するため、下記の業務を行った。

- ・ 日常清掃業務 休館日を除く毎日
- ・ 定期清掃業務 年 2 回 <6 月, 12 月>

- ・害虫防除業務 年1回 <2月> ※ 調理室のみ
- ・排水設備清掃業務 年1回 <2月>
- ・植物管理業務 月1回

◇ 設備保守点検業務

来館者が安全で快適に利用できるよう関係法令や保安規定等に基づき、またはそれに準じて点検・清掃・測定・検査等を実施した。

- ・空調及び給水設備保守点検業務 年2回 <6月, 12月>
- ・飲料水水質検査 年1回 <3月>
- ・消防設備保守点検業務 年2回 <6月, 12月>
- ・エレベーター設備保守点検業務 年4回 <4月, 7月, 10月, 1月>
- ・エレベーター設備遠隔監視業務 毎日
- ・自動ドア保守点検業務 年3回 <7月, 11月, 3月>
- ・自家用電気工作物保安管理業務 隔月1回

◇ 施設警備業務

施設での盗難、火災その他侵入者の不法行為等による事故発生を未然に防止するとともに、万一事故が発生した場合には迅速かつ適切な措置により、被害を最小限にとどめるよう、勤務時間内については職員が館内及び敷地内を定期的に見回り、夜間及び休館日については、警備会社による機械警備及び巡回警備を行った。

(ウ) 施設整備(修繕等)への対応

① 自動ドア修繕工事

設備の老朽化に伴い、1階西側(駐車場側)及び2階正面入口(内側)の自動ドアのエンジン装置一式の交換工事を行った。

② 消防設備(防火シャッター)改修工事

水戸市国際交流センターの増築(MITO国際ナショナルライブラリー)に伴い、既存不適格となった設備について、建築基準法に基づき改修工事を行った。

(8) その他

ア 公益法人運営関連業務

公益法人関連三法に基づき、次の業務を行った。

- (ア) 役員等の変更による行政庁(茨城県)への改変手続及び登記(5月, 8月, 3月)
- (イ) 行政庁(茨城県)への定期提出書類(平成28年度事業報告及び収支決算書)の提出(6月)
- (ウ) 行政庁(茨城県)への定期提出書類(平成30年度事業計画及び収支予算書)の提出(3月)

イ 講演等の実施

国際交流に対する理解の増進を図ることを目的として、水戸市の多文化共生への取り組みや課題、当協会の事業概要などについて、講演等を行った。

(ア) 茨城大学大学院教育学研究科

期 日：平成 29 年 6 月 7 日(水)

内 容：「地域教育資源フィールドスタディ」の授業の一環として、水戸市における多文化共生への取り組み・課題、当協会事業概要について講義した。

場 所：水戸市国際交流センター

受入人数：36 人(修士課程 1 年)

2 組織及び運営状況

(1) 役員等について

ア 評議員体制(平成30年3月31日現在)

敬称略, 順不同

| 役名 | 氏名 | 就任年月日 |
|-----|-------------|------------|
| 評議員 | 金澤 いね子 | 平成27年6月25日 |
| 評議員 | 川瀬 由紀子 | 平成23年7月1日 |
| 評議員 | 谷萩 紀行 | 平成24年6月20日 |
| 評議員 | 西連寺 節子 | 平成23年7月1日 |
| 評議員 | 掛札 真俊 | 平成23年7月1日 |
| 評議員 | 藤城 公子 | 平成27年6月25日 |
| 評議員 | 上村 洋美 | 平成23年9月14日 |
| 評議員 | 茂木 好美 | 平成23年7月1日 |
| 評議員 | 小柴 庄一 | 平成27年6月25日 |
| 評議員 | 大高 宣靖 | 平成27年6月25日 |
| 評議員 | 根岸 孝雄 | 平成23年7月1日 |
| 評議員 | 瀬谷 和人 | 平成23年7月1日 |
| 評議員 | 小泉 光子 | 平成23年7月1日 |
| 評議員 | 梅林 富士夫 | 平成27年6月25日 |
| 評議員 | 佐藤 達雄 | 平成29年6月23日 |
| 評議員 | 増子 健一 | 平成23年7月1日 |
| 評議員 | クレイ・バッセンジャー | 平成23年7月1日 |
| 評議員 | 朴 美貞 | 平成23年7月1日 |
| 評議員 | 岩本 郁子 | 平成23年7月1日 |
| 評議員 | 山岸 浩一 | 平成29年3月24日 |
| 評議員 | 菊池 浩康 | 平成29年6月23日 |

評議員21名

イ 役員体制(平成30年3月31日現在)

敬称略, 順不同

| 役名 | 氏名 | 就任年月日 |
|--------------|--------|------------|
| 理事長(代表理事) | | |
| 副理事長(代表理事) | 大野 文雄 | 平成8年5月20日 |
| 常務理事(業務執行理事) | 鈴木 重之 | 平成27年4月1日 |
| 理事 | 黒澤 輝子 | 平成19年4月1日 |
| 理事 | 阿部 真也 | 平成29年3月28日 |
| 理事 | 櫻庭 紀久子 | 平成29年3月28日 |
| 理事 | 幡谷 浩史 | 平成29年3月28日 |
| 理事 | 村田 進洋 | 平成27年6月25日 |
| 理事 | 福島 辰三 | 平成27年6月25日 |
| 理事 | 依田 泉 | 平成21年4月1日 |
| 理事 | 桂 秀明 | 平成19年4月1日 |
| 理事 | 小田部 卓 | 平成21年4月1日 |
| 理事 | 田尻 充 | 平成19年4月1日 |
| 理事 | 秋葉 宗志 | 平成28年6月16日 |
| 理事 | 本多 清峰 | 平成25年3月27日 |
| 理事 | 鈴木 吉昭 | 平成29年6月23日 |
| 監事 | 栗原 孝祐 | 平成19年4月1日 |
| 監事 | 永井 好信 | 平成28年6月16日 |

理事15名, 監事2名

ウ 役員等の異動

| 異動年月日 | 役名 | 氏名 | 備考 |
|------------|----------|---------|----|
| 平成29年6月23日 | 評議員 | 森 聖 治 | 退任 |
| 平成29年6月23日 | 評議員 | 川 崎 幹 男 | 退任 |
| 平成29年6月23日 | 評議員 | 佐 藤 達 雄 | 就任 |
| 平成29年6月23日 | 評議員 | 菊 池 浩 康 | 就任 |
| 平成29年6月23日 | 理事 | 秋 山 高 志 | 退任 |
| 平成29年6月23日 | 理事 | 武 田 秀 | 退任 |
| 平成29年6月23日 | 理事 | 鈴 木 吉 昭 | 就任 |
| 平成30年1月11日 | 理事及び代表理事 | 幡 谷 祐 一 | 退任 |
| 平成30年3月28日 | 評議員 | 櫻 庭 紀久子 | 退任 |
| 平成30年3月28日 | 評議員 | 幡 谷 浩 史 | 退任 |
| 平成30年3月28日 | 理事 | 阿 部 真 也 | 就任 |
| 平成30年3月28日 | 理事 | 櫻 庭 紀久子 | 就任 |
| 平成30年3月28日 | 理事 | 幡 谷 浩 史 | 就任 |
| 平成30年3月31日 | 理事 | 鈴 木 重 之 | 退任 |

(2) 議決(報告)事項

ア 評議員会

| 議決年月日 | 議決(報告)番号 | 件名 |
|------------|----------|--|
| 平成29年6月23日 | 報告第1号 | 平成28年度公益財団法人水戸市国際交流協会事業報告 |
| | 議案第1号 | 平成28年度公益財団法人水戸市国際交流協会収支決算 |
| | 議案第2号 | 公益財団法人水戸市国際交流協会理事の選任 |
| | 議案第3号 | 公益財団法人水戸市国際交流協会評議員の選任 |
| 平成30年3月28日 | 議案第4号 | 公益財団法人水戸市国際交流協会評議員の選任 |
| | 議案第5号 | 公益財団法人水戸市国際交流協会役員等の報酬等及び費用弁償に関する規程の一部を改正する規程 |
| | 報告第2号 | 平成29年度公益財団法人水戸市国際交流協会事業計画 |
| | 報告第3号 | 平成29年度公益財団法人水戸市国際交流協会収支予算 |

イ 理事会

| 議決年月日 | 議決(報告)番号 | 件 名 |
|-----------------------|----------|---------------------------------------|
| 平成29年5月26日 | 議案第1号 | 平成28年度公益財団法人水戸市国際交流協会事業報告 |
| | 議案第2号 | 平成28年度公益財団法人水戸市国際交流協会収支決算 |
| | 議案第3号 | 平成29年度公益財団法人水戸市国際交流協会 定時評議員会の招集 |
| | 報告第1号 | 業務執行状況報告 |
| 平成29年6月23日 (決議の省略) | 議案第4号 | 公益財団法人水戸市国際交流協会代表理事の選定 |
| | 議案第5号 | 公益財団法人水戸市国際交流協会業務執行理事の選定 |
| 平成30年3月17日 (決議の省略) | 議案第6号 | 平成29年度公益財団法人水戸市国際交流協会 臨時評議員会の招集 |
| 平成30年3月23日 | 議案第7号 | 公益財団法人水戸市国際交流協会給与規程の一部を 改正する規程 |
| | 議案第8号 | 平成30年度公益財団法人水戸市国際交流協会事業計画 |
| | 議案第9号 | 平成30年度公益財団法人水戸市国際交流協会基金の 取崩 |
| | 議案第10号 | 平成30年度公益財団法人水戸市国際交流協会収支予算 |
| | 議案第11号 | 公益財団法人水戸市国際交流協会臨時職員就業規則の 一部を改正する規則 |
| | 報告第2号 | 業務執行状況報告 |

(3) 庶務事項

ア 法人登記

| 登記年月日 | 登記事項 | 内 容 |
|------------|-------------------|-----------------|
| 平成29年4月26日 | 評議員の退任登記 | 清 瀬 一 浩 |
| | 評議員の就任登記 | 山 岸 浩 一 |
| 平成29年8月7日 | 評議員の退任登記 | 森 聖 治 川 崎 幹 男 |
| | 評議員の就任登記 | 佐 藤 達 夫 菊 池 浩 康 |
| 平成29年8月7日 | 理事の退任登記 | 秋 山 高 志 武 田 秀 |
| | 理事の就任登記 | 鈴 木 吉 昭 |
| 平成30年2月15日 | 理事及び代表理事の 退任登記 | 幡 谷 祐 一 |